

○ 三国祭を楽しめる場所

<ポイントと方針>

三国祭を町並み全体で盛り上げるための場所を作ります。

山車巡行路沿いの建物では、ミセや2階ツシで三国祭を楽しむことができます。路上だけではなく、建物の中からも人が祭りを楽しむことによって、街路空間全体で祭りを盛り上げていく雰囲気を作ることができます。

また、三国祭時には軒先に提灯を飾る風習があることから、その他の建築物も含めて、祭り時にはハレの空間を演出する設えを施します。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	三国祭時には提灯を設置する。 山車巡行路に面した建物では2階のツシ部分など山車をみる空間を設けましょう。
三国湊の町家	三国祭時には提灯を設置する。 山車巡行路に面した建物では2階のツシ部分など山車をみる空間を設けましょう。
その他の建築物	三国祭時には提灯を設置する。 山車巡行路に面した建物では、開口部などを設けましょう。

<事例>

		
かぐら建ての2階から山車を見る様子。 三国湊の伝統的町家相当	軒下空間を祭仕様に活用している。 三国湊の町家相当	山車を見れるように開口部を設けている。 その他の建築物相当

○ 生活設備空間

<ポイントと方針>

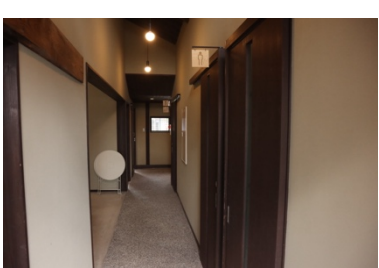
三国の敷地形状の特性を活かした内部空間構成を継承していきます。

細長い敷地形状を効率的に使うことのできる空間構成を上手く踏襲していくことで、水回りを集約するなど、設備の効率性も高めることができます。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	通り庭に沿って設ける
三国湊の町家	住み継いでいくために利便性を向上する改修を必要に応じて行う。 できる限り内部構成に影響のないところでおさめる。
その他の建築物	-

<事例>

		
トウリにそって新たなキッチンを造作することで、機能面も優れている。 三国湊の伝統的町家相当	トウリにそってトイレや給湯室が並んでいる。 三国湊の伝統的町家相当	旅館ならではの構成を維持し改修費用を抑えている。 三国湊の町家相当

○ 元の部材の架構

<ポイントと方針>

古い部材も三国の貴重な資源であるため、できる限り残して利活用していきます。

既存の架構はできるだけ保存していくこととし、耐震補強などを行う場合は、元の部材を活かしたものとしします。また、取り替える場合もできるだけ元の材料を残すために、根継等を検討するほか、塗装などの仕上げにも配慮することが望ましいです。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	元の部材や架構を積極的に保存し、改修の際は根継などにより古材を用いる。新しい材を用いる場合は古色塗装を行う。
三国湊の町家	元の部材や架構をできるだけ保存し、改修の際は可能な限り古材を用いる。
その他の建築物	古い建物の場合は元の部材や架構を使用することができる。 新築や改修の際には以下の項目を取り入れることができる。 ・ 古い架構をそのまま使う ・ 古材を取り入れる ・ 古材バンクを利用する（将来計画）

<事例>

		
元々の土壁をそのまま用いている。 三国湊の伝統的町家相当	外壁の一部をガラスにすることで、内部を明るくしつつ元の部材をみせている。 三国湊の伝統的町家相当	天井を抜き、屋根の架構を現しにすることで空間を広くみせている。 三国湊の町家相当

4) 夜間照明

○ 照度と色

<ポイントと方針>

夜間でも安心安全を確保し、夜にも町歩きができるような町並みを形成していきます。

そのために「暗い・怖い」と感じさせない明るさを確保することが必要ですが、雰囲気のある町並みをより一層引き立たせるために電球色を基本とします。また、例えば「21 時までは玄関先の電気をつけておく」など、安心安全を確保していくための各地区でルール作りをしていくことも望まれます。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	街路に面する場所では、温かみのある電球色の照明を用いる。
三国湊の町家	
その他の建築物	

<事例>

		
軒下をてらす温かい光。	三国祭の提灯のあかり。	行燈のようなあかり。

○ 建物からの漏れ光

<ポイントと方針>

夜間でも安心安全を確保し、夜にも町歩きができるような町並みを形成していきます。

街灯だけではなく、玄関先や店先から光が漏れ出し人の気配を感じさせることで、安心して歩けるようにします。また、格子の隙間から光が漏れ出すことで、町家の町並みならではの光の演出をすることができるようになります。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	街路に面して設ける照明は、格子や開口部から漏れ出る灯りや提灯などの間接的なものとします。
三国湊の町家	
その他の建築物	

<事例>

		
格子から溢れ出すあかりは通りに安心感を与えている。	格子から溢れ出す暖かい漏れ光になっている。	間口を照らすあかり。

○ サイン・看板の照明

<ポイントと方針>

サイン・看板も含めて統一感のある夜間景観を形成していきます。

店舗のサイン・看板の照明も通りや家々の照明と合わせて電球色を基本とします。ガイドラインでは自然素材を用いた看板を推奨しているため、外照式の場合は自然素材を引き立たせるように照らし方を工夫します。内照式の場合は、文字のみを光らせたり、提灯のような器具にするなど、町並みの雰囲気配慮したものとしします。

<分類>

分類	基準
三国湊の伝統的町家	外側から照らすあかりや提灯のようなものを用いる。
三国湊の町家	外側から照らすあかりや提灯のようなものを用いる。
その他の建築物	派手なもの、動きのあるものは避ける。

<事例>

	
提灯を用いたもの。 三国湊の伝統的町家相当	内照式ではなく、看板をライトで照らしている。 三国湊の町家相当